

さとう まさゆき

佐藤農園（佐藤 正之）

さばか

30歳代で勤めていた会社を退職し、地元である舞鶴市佐波賀に帰ってきました。京都府北部に位置する舞鶴市佐波賀は、綺麗な山と海に囲まれたとても自然豊かな地域です。この地で親が農業を営んでおり、当初は少し手伝いをしようと考えていましたが、地域からの誘いと、「佐藤農園の野菜は美味しい」という言葉に後押しされ、この地での就農を決意しました。



堀川ごぼうを栽培中



ほ場のすぐそばには海があり
とても見晴らしが良い

露地栽培では万願寺甘とう、堀川ごぼう、佐波賀だいこんなどを約48a、施設栽培ではイチゴ、トマトなどを約10a栽培しています。

一度栽培が途絶えた佐波賀だいこんの復活に尽力するなど、佐波賀だいこんには特に力を入れています。地域での普及や学校給食への提供など、食育活動にも積極的に取り組んでいます。

有機質肥料を利用するなど、肥料には特にこだわり、「佐藤農園の野菜は美味しい」と言われることが、やりがいとなっています。



露地で栽培している万願寺甘とう



京の伝統野菜「佐波賀だいこん」

これから農業を始めたいと思っている人へ

経営感覚を身につけるための自己研鑽を行っておくと、就農後にとても役に立ちます。また、市場価格によって栽培する品目を変えるのではなく、同じ品目をコツコツと、信念を持って栽培し続けてほしいです。